

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	担い手育成推進事業		所管課【2】	農林水産政策課
			評価者(担当者)	小山 博
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)農林業の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(5)農業経営者の育成と受皿づくり		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 農業経営基盤強化促進法、玉名市農業担い手規模拡大事業助成実施要領】			
	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 6 項 1 目 7 細目 1】			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	今後、農業者の減少と高齢化の進行が見込まれる中、効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う望ましい農業構造の確立を図るために意欲と能力のある担い手の育成、確保に積極的に取り組む必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	認定農業者、集落営農組織
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	認定農業者及び集落営農組織を支援し担い手の育成確保を図る。

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
	【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	①認定農業者協議会への委託(後援会、パソコン教室)や事務局事務、新規・更新の認定農業者の審査会等の開催する。 ②農地利用計画を定め、農業委員会の承認を受け公告し、農地の貸し借りをを行う。 ③農地を面的集積した認定農業者(借手)と地主(貸手)への助成金(借手1万/10a、貸手5千/10a)を交付する。 ④若手農業者で組織する団体へ助成金を交付し、後継者の育成を図る。
	事務事業を構成する細事業【15】
	① 担い手育成推進事業
	② 農業経営基盤強化促進事業
	③ 担い手規模拡大事業
	④ 農業後継者育成補助事業
	⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金	50 %	4,572	2,791	3,308	3,817
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源		8,512	14,192	15,555	15,038
	【16】 小計		13,084	16,983	18,863	18,855	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		1,017	2,413	3,459	4,734	
	職人件費	職員人工数		1.53	2.40	2.40	2.40
		職員の年間平均給与額(千円)		5,610	5,424	5,424	5,424
【17】 小計			8,583	13,018	13,018	13,018	
合計			21,667	30,001	31,881	31,873	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 担い手育成推進事業	認定農業者の支援や審査会の開催(新規、5年更新)	審査会開催回数	回	9	9	9	10
② 農業経営基盤強化促進事業	農業委員会の承認を受け、公告を行う。	公告回数	回	12	12	12	12
③ 担い手規模拡大事業	農地の面的集積を行った認定農業者と地主に対する補助	補助金交付件数	人数	290	395	260	300
④ 農業後継者育成補助事業	若手農業者の組織に補助金を交付し活動を支援	活動団体数	団体	3	3	3	3
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 認定農業者数	年度末の認定農業者数	人	1,020 1,017	1,030 1,044	1,050 1,049	1,055
2 農用地集積面積	規模拡大事業による農地の集積面積	ha	100 53	80 80	90 90	90

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	担い手不足が深刻化し、農業の衰退を招く恐れがある。また、農業者の目的意識がなくなり目差す方向性が一本化できなくなる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	高齢を理由に認定更新時に認定農業者を辞退するものが増えたため、目標値に及ばなかった。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	今後、農業者の減少と高齢化の進行が見込まれる中、担い手となる後継者の育成確保及び農地集積や耕作放棄地を未然に防ぐための重要な事業であるため現状のまま継続する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	農業従事者の高齢化や後継者不足等により、農業担い手が減少し、食料自給率の低下や耕作放棄地の増大などの問題の深刻化を防ぐためにも、今後の農業・農村を支えていく担い手の育成対策の充実・強化が不可欠である。	評価責任者 本山 武志
------------------	--	----------------